

効果① 都心経由から圏央道経由への転換

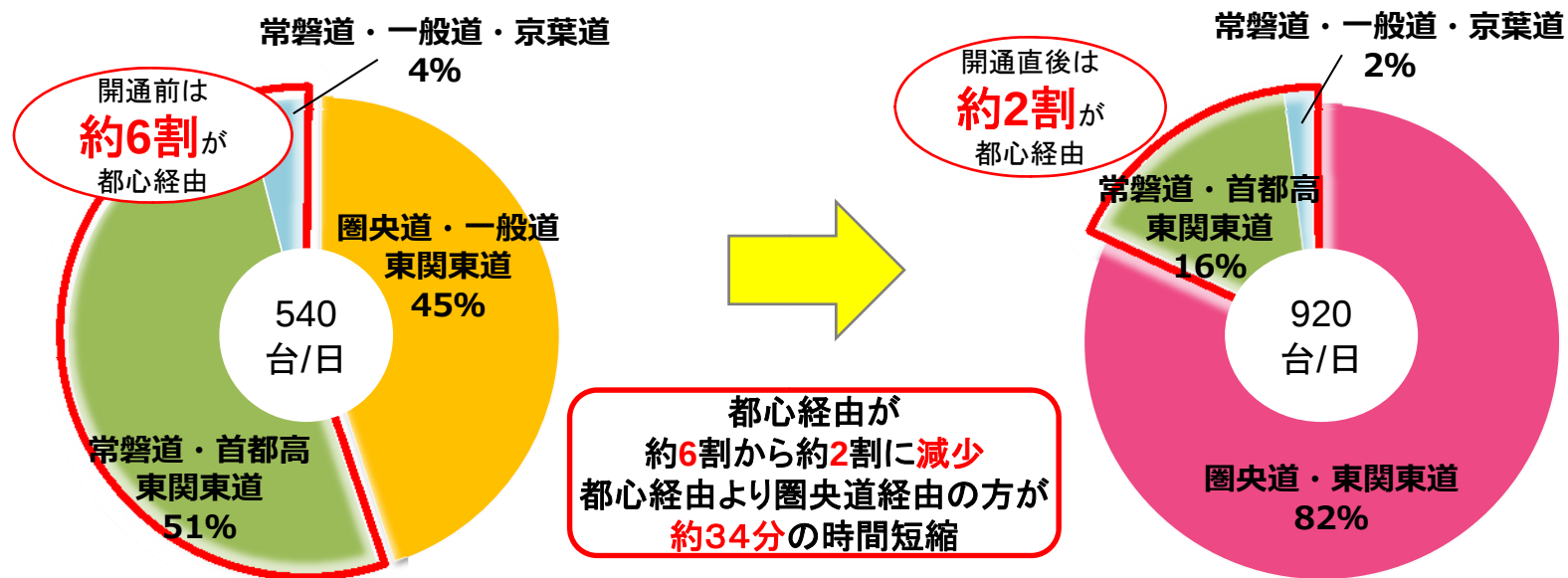
- つくばJCT～宮野木JCT間を移動する広域交通では、都心経由から圏央道経由への経路転換が図られ、都心経由の交通の割合が約6割から2割に減少しました。



■つくばJCT - 宮野木JCT間の利用経路〈全車〉

【開通前】

【開通後】



都心経由が
約6割から約2割に減少
都心経由より圏央道経由の方が
約34分の時間短縮

※経路について

- 常磐道－首都高－東関東道を經由
- 常磐道－外かん(三郷南IC)－
一般道－京葉道(船橋IC・原木IC)を經由
- 圏央道(稲敷IC・稲敷東IC・神崎IC)－一般道－
東関東道(大栄IC・成田IC・富里IC・酒々井IC)を經由
- 圏央道－東関東道を經由

常磐道・首都高・東関東経路の場合の所要時間: 92分

圏央道・東関東経路の場合の所要時間: 58分

※所要時間: H22年道路交通センサスの混雑時旅行速度より算出。

なお、稲敷IC～大栄JCTは、規制速度(70km/h)で算出。

開通前: H26.6の平日のETCログデータより作成

開通後: H27.6.8(月)～H27.6.12(金)のETCログデータより作成